

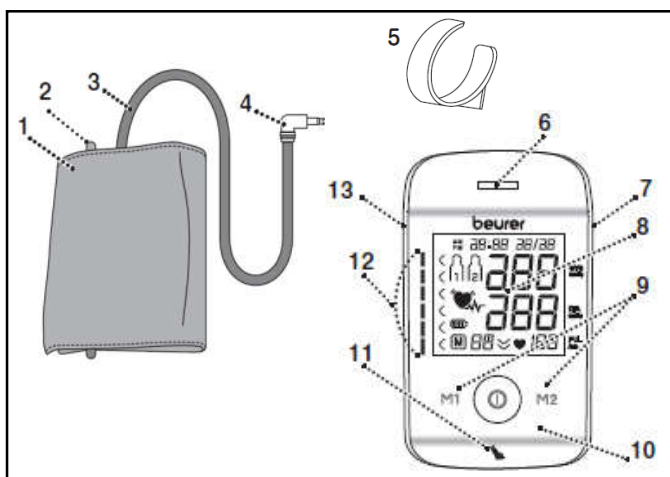
beurer 上腕式自動電子血圧計 BM84

【禁忌・禁止】

- ・測定結果の自己判断・または自己判断による治療
(症状の悪化につながる場合があります。)
- ・けがや治療中の腕での測定
(症状の悪化につながる場合があります。)
- ・可燃性、助燃性ガスの近く、高濃度酸素環境下での使用
(引火、発火または爆発の原因となります。)
- ・耐用期間を超えた使用
(正しく測定できない場合があります。)
- ・医療機関や公共の場所など、不特定多数の方の使用
(事故やトラブルの原因になります。)
- ・専用の充電アダプター、充電ケーブル以外を使用する充電
(火災や爆発、感電及び故障の原因になります。)

【形状・構造及び原理等】

1. 主要部の形状と名称



- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1 腕帯（カフ） | 9 M1 タッチボタン／M2 タッチボタン（タッチセンサー式） |
| 2 カフリング | 10 スタート／ストップボタン |
| 3 カフチューブ | 11 HSD ランプ |
| 4 カフコネクター | 血流が安定しているときは緑 |
| 5 カフホルダー | そうでないときは赤が点灯 |
| 6 カフホルダー差込口 | 12 血圧分類 |
| 7 本体側充電ケーブル差込口（USB mini B メス） | 13 カフコネクター差込口 |
| 8 ディスプレイ | |

付属品

- ・腕帯（カフ）対象腕周：22～30 cm
- ・充電アダプター（専用） ・充電ケーブル ・収納ソフトケース
- ・取扱説明書（品質保証書付き） ・医療機器添付文書（本書）

2. 本体寸法及び質量

外形寸法：180mm（長さ）×99mm（幅）×51mm（高さ）

質量：約 306 g*（腕帯（カフ）を除く）

3. 定格

- (1) 測定範囲：3～300mmHg
- (2) 目量：1mmHg
- (3) 脈拍数測定範囲：40～180 拍/分
- (4) 加圧：自動加圧方式
- (5) 排気：自動排気方式
- (6) 電源電圧：DC3.7V（リチウムイオン二次電池内蔵）
- (7) 定格電流：600mA
- (8) 電撃保護の形式：内部電源機器
- (9) 電撃保護の程度：BF 型装着部

4. 性能

- (1) 臨床性能試験による血圧測定の誤差
聴診法との誤差平均：±5mmHg 以内
標準偏差：8mmHg 以内
- (2) カフ内圧力表示の誤差
150mmHg を超えない場合：±3mmHg 以下
150mmHg を超える場合：測定値の 2% 以下
- (3) カフ内圧力の最大値
300mmHg を超えてはならない。

5. 適合規格

本製品は、JIS 規格 JIS T 1115:2018 に適合しています。

本製品は、EMC 規格 JIS T 0601-1-2:2018 に適合しています。

（JIS T1115：2018 201.3.210）に定義されている新生児モードへの対応はありません。

6. 動作原理

腕帯圧力を徐々に加圧すると、腕帯内圧力に心拍に同期した脈動現象が現れます。この脈動は、出始めは小さく、加圧に従い大きくなり、やがて最大振幅を示した後、再び小さくなる山型のパターンとなります。オシロメトリック方式の血圧計は、この脈動分の振幅波形情報と腕帯圧力を圧力センサーで感知し、マイクロコンピュータで解析し、最高血圧及び最低血圧を決定しています。

【使用目的又は効果】

健康管理のために収縮時血圧及び拡張期血圧を非観血的に測定すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用方法等】

1.（必要に応じて）充電する

- (1) 充電アダプターのアダプター側充電ケーブル差込口に充電ケーブルのアダプター側充電コネクタを差し込んでください。
差し込みの方向が決まっているので、よく確認してください。
- (2) 血圧計の本体側充電ケーブル差込口に充電ケーブルの本体側充電コネクタを差し込んでください。
- (3) 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- (4) 充電が完了したら、すべてを外してください。

2.腕帯を巻く

- (1) カフの幅を広げる
カフの面ファスナーを外し、腕に通せるよう十分に緩めてください。
- (2) カフを腕に通す
カフチューブが手首側、カフのOKマークが肩側に来るよう、腕にカフを通し、上腕まで引き上げてください。
- (3) カフを巻く
指1～2本入るくらい余裕を持たせて締め付けて、面ファスナーで固定してください。ひじを内側に曲げ、軽くカフを押さえると、カフが固定しやすくなります。
- (4) 締め付けを確認する
カフの対象腕周は22～30cmです。
カフを締めたときにカフの外側の▼がOKの範囲にあれば、腕周が合っています。
- (5) カフを本体に接続する
カフチューブの先端についているカフコネクタを血圧計本体のカフコネクタ差込口にしっかりと差し込んでください。

3.姿勢を確認する

- 正しい測定をするためには、測定するときの姿勢が重要です。
- (1) リラックスして、前屈みにならないよう、いすに深く腰掛け、背中を背もたれにしっかりつけてください。前屈みになると、血圧が上がる傾向となります。
 - (2) 足は組まずに、両足を床につけてください。
腕の力を抜き、肘から先をテーブルの上に軽く乗せてください。
腕に巻いてあるカフが心臓とだいたい同じ高さになっているかを確認して下さい。合っていないときは、肘の下にタオルなどを置いたり（カフが心臓より低い場合）、椅子に座布団を敷いたり（カフが心臓より高い場合）して高さを調節してください。
 - (3) 手のひらを上に向け、軽く開いてください。

4.測定する

スタート/ストップボタンを押してください。カフに加圧が始まり、自動で測定します。

※途中で測定を中止したいときは、スタート/ストップボタンをもう一度押してください。ただちに減圧し、カフが緩みます。

カフの締め付けにより、腕に内出血がおこり、赤みが残る可能性があります。

腕や体に痛みや異変、違和感を感じたときは、すぐにスタート/ストップボタンを押して、測定を中止してください。

5.測定結果を確認する

測定が終わるとディスプレイに最高血圧、最低血圧、心拍数のほか、血圧分類、HSD（血流動態安定性表示機能）の結果等が表示されます。

6.電源を切る

スタート/ストップボタンを押して、血圧計の電源を切ってください。
血圧計の電源を切らなくても、約3分後に自動的に電源が切れます。

【使用上の注意】

- ・既往症のある方は、医師の指導のもとで使用してください。
- ・重度の血行障害や血液疾患のある方は、必ず医師の指導を受けてから使用してください。
- ・異常が発生したら、ただちに腕帯を腕から外してください。
- ・子供や自分で判断や意思表示ができない人には使用しないでください。
- ・必要以上の頻度で測定しないでください。
- ・腕帯を300mmHg以上加圧しないでください。
- ・血圧測定以外の目的で使用しないでください。
- ・専用の腕帯以外は使用しないでください。
- ・強い電波を発する機器の近くでは使用しないでください。
- ・本体や腕帯を分解したり、改造したりしないでください。

【保管方法及び有効期間等】

1.保管方法

- (1) 次のような場所に保管しないでください。
 - ・水のかかる場所
 - ・直射日光や強い紫外線が当たる場所や汚れ、埃の多い場所
 - ・急激に気圧、気温、湿度が変化する場所
 - ・湿気や塩分、硫黄分等を含んだ空気等による影響を受ける場所
 - ・傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）のある場所
 - ・薬品や防虫剤等、揮発性のあるものが使用又は保管されている場所
- (2) 保管環境温湿度：－20～55℃ 10～90%RH（結露なきこと）
- (3) 長期間使用しないときは、半年に一度程度、充電電池の容量の50～75%まで充電して保管してください。

2.耐用期間

5年もしくは3万回のいずれか早く到達したほうとなります。
〔自己認証（当社データ）による〕

【保守・点検に係る事項】

- ・血圧計はいつも清潔にしてください。
- ・本体や腕帯の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ・本体や腕帯の汚れがひどいときは、水を染み込ませた布を固く絞って拭き取り、柔らかい布でから拭きしてください。
- ・汚れを落とすときに、洗剤やアルコール、ベンゼン、シンナー等の溶剤を使用しないで下さい。

【製造販売業者及び製造業者の名称及び住所等】

*製造販売元：株式会社豊栄

〒277-0924 千葉県柏市風早 1丁目8番9

電話番号 04-7192-3321

*製造元：Andon Medical Co., Ltd China

取扱説明書を必ずご参照ください。